

令和4年度

事業計画書

社会福祉法人 三和会

1. 社会福祉法人 三和会 運営方針・事業計画
2. 特別養護老人ホーム そよ風の里“ほたる” 事業計画
3. 短期入所生活介護事業所 そよ風の里“ほたる” 事業計画
4. デイサービスセンター そよ風の里“ほたる” 事業計画
5. 居宅介護支援事業所 そよ風の里“ほたる” 事業計画
6. 住宅型有料老人ホーム そよ風一番館 事業計画

法人名 **社会福祉法人 三和会**

経営理念 「人にやさしい、環境にやさしい、介護にやさしい、地域で支える介護サービス」

基本理念 「尊厳ある暮らしを守る」

利用者一人ひとりの意志及び人権を尊重し、「その人らしく、心豊かに、自立した」日常生活が送れるよう支援する。

基本方針 基本理念のもと、事業所ごとに事業計画を立て全職員で取り組んでいきます。

- 1 利用者中心のサービスの提供
利用者一人ひとりの思いを大切に、家庭的な雰囲気の中で笑顔あふれる暮らしを提供します。
- 2 地域福祉への貢献
地域や家庭との絆を大切に、「開かれた施設地域に信頼される施設“を目指します。
- 3 職員の資質向上
福祉職員としてのスキルを磨き、利用者に満足していただけるサービスの提供に努めます。
- 4 安全管理の徹底
利用者が健康で安心して暮らして頂けるよう、健康管理と事故防止に努めます。
- 5 経営の安定化
組織力を強化、法定遵守、情報公開、コスト削減を念頭に置き各事業の増収を図ります。

地域における役割

私たちは、介護が必要になった方も当たり前で日常生活を送ることができるよう支援します。在宅介護をされている方にも自分の生活を豊かに過ごしていただくため、介護事業所として安心安全なサービスを提供する義務があります。そのため安定した経営、安全設備、安心信頼できるサービスを継続して提供できるよう全職員で取り組みます。

地域社会への取組

地域や家族との信頼関係構築のため、いつでも相談できるよう窓口を設けます。
介護認定を受けておられない高齢者の短期宿泊を山都町と協定し実施します。
自然災害などで避難し助を必要とする高齢者の避難受け入れをおこないます。
山都町の高齢者で定期受診に必要な外出支援を山都町と協定し実施します。

令和4年度の重点目標

本年度は、前年度までの感染対策を継続し安定したサービスの提供また臨時的な代替えのサービス等を

提供できるよう全部署での備えを重視します。また災害の際のサービスの提供方法や職員の役割分担など日頃より意識し、訓練等も行います。また、今年度より特定技能、技能実習生の受け入れを行い職員の意識の向上と職場環境の改善に取り組みます。

具体的取組（成果、指標）

関係機関と情報交換し連携を密に行っていくよう、開催される会議などには積極的に参加し地域のニーズの把握に努めます。また、将来的に必要となる人材の確保や育成について知識を深め安定したサービスの提供が出来る様努めます。また、寄宿舎を完備し3名の住まいを確保します。敷地内の寄宿舎を利用し安全で安心な住まいの提供を行い、職務に専念できる環境づくりに取り組みます。

【法人運営】

理事会

6月	事業報告書について、決算について、理事長職務執行状況などの報告
9月	定例会、理事長職務執行状況報告
12月	補正予算の承認、理事長職務執行状況報告
3月	次年度事業計画書について、次年度予算の承認
非定例	理事会の臨時開催

監事

5月	内部経理監査の実施
6月	理事会、評議員会参加
9月	定例理事会参加
12月	定例理事会参加
3月	定例理事会参加
非定例	理事会、評議員会の臨時開催の参加

評議員

5月	決算の承認
非定例	評議員会の臨時開催

事業所及び定員

特別養護老人ホーム そよ風の里“ほたる”	29床（3ユニット）
短期入所生活介護事業所 そよ風の里“ほたる”	10床

デイサービスセンターそよ風の里“ほたる”	20名（日）
居宅介護支援事業所そよ風の里“ほたる”	要介護30、要支援5
住宅型有料老人ホームそよ風の里一番館	9室

職員配置

	特別養護老人ホーム	短期入所生活介護事業所	デイサービスセンター	居宅介護支援事業所	有料老人ホーム
施設長	1（兼）	1（兼）	1（兼）	1（兼）	1（兼）
生活相談員	1（兼）	1（兼）	2（兼）		
介護支援専門員	1（兼）	1（兼）		1（兼）	
栄養士	2（内1兼）	2（内兼）	2（内1兼）		
看護師	3（兼）	3（兼）	2（兼）		
機能訓練指導員	2（兼）	2（兼）	2（兼）		
介護職	20（内4兼務）	6（内3兼務）	5（内1兼）		4
調理職	5（兼）	5（兼）	5（兼）		5（兼）
事務職	2（兼）	1（兼）	1（兼）		
その他	3				
計	37	19	16	1	10

委員会会議

管理者会議 月1回（臨時で行う場合もある）
 運営推進委員会 2か月に1回
 苦情解決委員会 年1回（必要時）
 入所判定委員会 3か月に1回
 家族会 年1回（必要時）
 防火・防災管理委員会 年2回（臨時で行う場合あり）
 事故防止委員会 3か月1回
 接遇教育委員会 3か月に1回
 職員全体会議 年1回
 リーダー会議 月1回（臨時で行う場合あり）
 ユニット会議 月1回（臨時で行う場合あり）
 ケアカンファレンス 必要に応じ開催
 安全衛生管理委員会 月1回
 感染褥瘡防止委員会 月1回
 給食委員会 2か月に1回
 身体拘束虐待防止委員会 2か月に1回

人材育成と職場環境の整備

施設職員として、知識・技術を高めるため施設内研修を行い全職員が参加できるよう取り組みます。
 また、資格取得など自己研鑽に努めることができるよう研修の周知を行い、積極的な参加の呼びかけを行います。

新規採用職員には、新人教育を行い項目に沿って担当者が研修を行い職員の一員である意識を高め共に資質向上へ取り組みます。

具体的取組（成果・指標）

地域との意見交換会などを充実させ、地域の状況や介護事業所との連携を行い地域の充実を目指します。また、今年度は在宅介護や介護者の心身の健康に貢献できるよう積極的にとりくみ関係者の相談業務を重視します。

このことにより、在宅介護と介護事業所の利用において継続した在宅生活が実現できるよう努めます。

財務基盤の強化への取組（成果・指標）

収入について、前年度比110%を事業所目指し新規利用の確保。また事業所の営業などを行い魅力ある事業所づくりに努めます。

支出において、経費削減など職員全員が意識し取り組むよう情報の公開と意識向上に努めます。

介護保険事業の収益増を目指し、人件費率を下げ安定した経営を目指します。

事業所名

特別養護老人ホーム そよ風の里“ほたる”

地域における役割

住み慣れた地域で利用者・家族が安心して暮らして頂けるよう、安心安全な住まいの提供を行います。利用者中心のサービスの提供・個別ケアの実施、地域福祉への貢献、職員の資質向上、安全管理の徹底、健全経営の確保を実現するため柔軟に対応できる組織作りや取り組みを行います。

地域社会への取組

地域に根付いた施設となるため、施設からの情報発信を行いよりたくさんの方々に施設の取組を知って頂けるよう努力します。また『自分らしく』を実現できるよう、地域や家族との連携を密に行います。ご家族へもご本人の様子など近況をお伝えし家族とのつながりを重視します。

令和4年度の重点目標

外国人技能実習生、特定技能外国人受け入れ態勢の強化

スタッフ同士の連携を密に行う

稼働率の安定

無駄な支出の削減

具体的取組（成果、指標）

外国人労働者と一緒に切磋琢磨できるよう、スタッフ一人一人が当事者意識を持ち、ユニット会議参加していく。稼働率を安定させるために、入居者の健康管理、異常の早期発見をし、入院をできる限り防ぐ。各ユニットリーダーが主となり、無駄な光熱費の削減や過剰な消耗品消費を減らしていく。

年間計画（行事、イベント）

	れんげ	菜の花	あざみ
4月	万十づくり	花見（さくら）	花見
5月	芝桜見学	中庭での食事会	
6月	梅干し作り	認知症勉強会	
7月	七夕飾り	七夕飾り	
8月	夏祭り		ミニ花火大会
9月	葡萄狩り		
10月	ミニ運動会	拘縮勉強会	ミニ運動会
11月	しめ縄づくり		
12月	クリスマス会	クリスマス会	ミニ忘年会

1月	そば作り・新年会	新年会	
2月	チョコレート作り	体位交換勉強会	
3月	高菜漬け作り		

人材育成と職場環境の整備

- ① 知識と技術を高めるため、目標をもって資格取得を目指します。
- ② 内部・外部研修に積極的に参加します。
- ③ 接遇マナー向上に努めます。
- ④ ON と OFF を明確にし、勤務中は自分の行動に責任を持ち職務に専念します。

稼働率目標指数

R2 年度稼働率実績 (%)	R3 年度稼働率実績見込 (%)	R4 年度目標稼働率 (%)
100%	99%	99%

財務基盤の強化への取組

取組や方針などを発信し地域や他事業所との連携を行います。入院に至っても長期入院とならない様、早期発見し治療が行えるよう医療機関との連携も強化します。光熱費等にも職員一人一人が意識をし、支出抑制に取り組みます。

【介護】

食事について、具体的取組

食事は入居者にとって楽しみであり、喜びです。美味しく楽しく食事が出来る様、様々な行事にも取り組みます。また、個々のペースに合わせ、ゆっくりと食事ができる雰囲気作りを意識します。経口摂取を継続できるよう多職種での協力体制を強化し、状態に合わせた食事形態を検討し提供します。

入浴について、具体的取組

1対1での入浴支援を行います。個別浴槽にて、ゆっくりと本人のペースで入浴していただけるよう支援します。週2回以上の入浴を実施し、心身の健康維持に努めます。

入浴前にはバイタルチェックを行い、看護師と連携し健康状態を確認し、スタッフ間で情報を共有、安心して入浴していただけるよう支援します。全身状態を観察し、異常の早期発見に努めます。

排泄について、具体的取組

プライバシーや尊厳の保持、羞恥心に配慮した思いやりの介護を行います。

個別の24時間の排せつリズムを把握し、個々に応じた排せつ方法を検討。健康状態の把握を行い、日中はできる限りトイレでの排泄介助を行い、尿路感染症の予防に努めます。排泄後、手洗いや手すり便座の消毒を行い感染予防に努めます。

身だしなみについて、

個々の生活リズムや生活習慣に合わせ、着替えや歯磨き化粧など、自分で出来る方の補助を行いながら、身だしなみを整えられるよう支援します。洗濯を適切に行い清潔保持に努めます。

【健康管理】

日常の健康管理について、具体的取組

入居者ひとり一人が、健康で快適な生活が送れるよう、食事量や排せつ状態を観察し、疾病の早期発見・対応に努め身体機能を低下させない様支援します。また、日頃の健康観察に加え適切な医師の診察や治療が行えるよう、協力医療機関と連携を行います（協力医療機関：山都町包括医療センターそよう病院）感染症予防（手洗い・うがい・マスク着用の徹底）を継続して行い、感染・蔓延予防に取り組みます。

【機能訓練】

具体的取組（成果、指標）

個別機能訓練計画を立て実行。（毎日）（月、水、金）（火、木）と計画を立て手探りの状態であった。無理せず行っていた状態である。今年度は昨年度の計画を見直し、反省の元その方に合う個別機能訓練を計画していきたい。

【日常生活援助】

具体的取組（成果、指標）

24時間シートを活用し、入居者様の日常生活（食事・排泄・入浴）動作のADLが低下しないように心掛け、快適に過ごされるように支援します。

余暇活動について

季節を感じて頂く為にも、季節の行事を取り入れたレクリエーションを行っていきます。徐々に介助が必要な方が増えてきたので、医務の力も借りながら楽しんで気分転換できるように、行っていきます。

事業所名 短期入所生活介護事業所 そよ風の里“ほたる”

地域における役割

地域での認知症の方や、介助が必要な方の受け入れを積極的に行っており、住み慣れた場所での生活が継続出来るよう支援します。そして、受け入れる事により家族の介護負担軽減ができるよう支援します。

地域社会への取組

地域と共に地域の高齢者を支え、安心できる事業所となる為、ほたるの存在魅力を知っていただき、ショートステイを利用していただく。災害時や緊急の受け入れを積極的に行う。

令和4年度の重点目標

在宅での生活が維持できるよう、残存機能を維持・向上できる、その方にあった支援を行っていく。

具体的取組（成果、指標）

在宅生活の継続と家族の負担軽減が実現できるよう、受け入れ前の情報収集と居宅計画に沿った介護、手を出しすぎず、本人の能力を把握・活かす支援を行う。

稼働率目標指数

R2 年度稼働率実績 (%)	R3 年度稼働率実績見込 (%)	R4 年度目標稼働率 (%)
80%	79%	80%

財務基盤の強化への取組

他事業所との情報交換を行い安定した稼働率を目指します。また取組や方針などを発信し、地域や他事業所との連携を行い、新規申し込みにつながるよう努力します。

事業所名 デイサービスセンター そよ風の里“ほたる”

地域における役割

私たちは、介護が必要になった方と家族が当たり前に日常生活を送ることができ、自分の生活を豊かに過ごしていただくため、介護事業所として安心安全なサービス提供に努めます。そのため安定した経営、安全設備、安心信頼できるサービスを継続して提供できるよう、また地域に根付いたデイサービスとなるよう全職員で取り組みます。

地域社会への取組

通所介護を利用される利用者の方々が、自宅や住み慣れた地域で自立した生活が継続できるよう、多職種と連携を図りながら地域全体で利用者及びその家族を支えています。また、地域の特性に応じた、新たな社会資源の発見にも努めています。

令和4年度の重点目標

- ① 必要な日常生活の世話及び機能訓練を行うことにより、利用者の心身の機能の維持並びにその家族の身体的及び精神的負担の軽減を図ります。
- ② 居宅サービス計画書をもとに、その利用者に応じた介護と機能訓練の計画書を作成し、在宅生活が継続できるよう支援します。
- ③ 感染症や疾病の再発予防のために、利用者の健康管理に努めます。

具体的取組（成果、指標）

- ① 利用者の心身の状態や生活環境を正確に把握した上で、介護と機能訓練の計画書を作成し、一人ひとりのニーズに沿ったサービスを提供していきます。
- ② 多職種（看護師・機能訓練指導員・介護職員など）で連携し、サービス計画書を作成します。
- ③ 家庭での健康状態を家族に確認するなど、利用者の健康維持に努めています。

年間計画

4月	桜見物
5月	鯉のぼり作り おやつ作り
6月	菖蒲見物
7月	七夕飾り
8月	室内ショッピング
9月	ピクニック

10月	運動会
11月	紅葉見物
12月	クリスマス会 忘年会 おやつ作り
1月	新年会
2月	ひな人形作り
3月	おやつ作り

人材育成と職場環境の整備

職員ひとり一人が向上心を持ち、知識と技術を高め自己研鑽に努めます。また、業務に専念できる環境作りに力を入れ職員同士のコミュニケーションを図り働きやすい職場となるよう努力します。

稼働率目標指数

R2 年度稼働率実績 (%)	R3 年度稼働率実績見込 (%)	R3 年度目標稼働率 (%)
73%	62%	70%

財務基盤の強化への取組

- ① パンフレットや広報等により、デイサービスの内容や取り組みを地域住民に発信し、利用者の増加を目指します。
- ② 病気・入院や施設利用により利用者数が減少しないよう、健康管理と心身機能の維持に努めます。
- ③ 職員一人ひとりがこまめな節約を心がけ、光熱費など支出の削減に努めます。

【介護】

食事について、具体的取組（成果、指標）

関係者との情報交換や意見交換を行い、楽しく美味しい食事の提供に努めます。また、食器の工夫や椅子・テーブルを調整し食事の自立を重視します。利用者の食事形態にあった食事を提供し、本人の快い食事となるよう支援します。

入浴について、具体的取組

個別浴槽で1対1の入浴介助を行います。不安や拒否の原因とならないよう、羞恥心に配慮し安全な入浴介助や清潔保持、健康状態の観察を行います。

排泄について、具体的取組

利用者の排泄リズムを把握し、適切にトイレ誘導を行います。汚染がある場合には適切に対応し清潔保持に努めます。またオムツが必要な方については排泄リズムを把握し、時間・場所など本人のプライバシーに配慮しオムツ交換を行います。

送迎について、具体的取組

送迎ルートや時間、車種や乗降などを随時検討し利用者の安心安全な送迎を行います。また緊急時の対応や送迎時のマナーなど職員で情報共有し質の向上に努めます。

【健康管理】

日常の健康管理について、具体的取組

- ① 利用者の家族に、利用日の朝の検温と健康状態の報告を依頼し、健康状態の把握に努めます。
- ② 来苑後、血圧測定・検温を行い、異常の早期発見に努めます。
- ③ 入浴時などは全身の状態（皮膚疾患・むくみなど）を確認し、早期発見・早期治療に努めます。
- ④ 衣類の調整を行い、脱水症や皮膚疾患の予防に努めます。

緊急時の対応について

- ① 利用者が急変された場合には、家族・医療機関・担当の介護支援専門員などに連絡し、適切な対応を行います。

感染予防対策について

- ① 利用者には、利用時の手洗い・手指の消毒・うがい・マスクの着用を依頼します。
- ② 共有して使用する物（ボール・セラバンドなど）は、使用後の消毒を行います。
- ③ テーブルやイスは適宜に消毒を行います。
- ④ 送迎後、車内の消毒を行います。
- ⑤ 利用者の居場所を考慮した換気を行います。

【機能訓練】

具体的取組

利用者のニーズや意向を把握し、計画書に沿って個別機能訓練を行い在宅生活が継続できるよう支援します。集団体操では、ストレッチやレクリエーションを実施し、体力や筋力の向上に努めます。

【相談援助】

具体的取組

生活相談員を配置し、利用者及び家族に対して相談受付窓口となり、在宅生活や介護相談を受け付けます。利用者が楽しく通所できるよう、悩みや不安の軽減を図り利用者・家族・職員の信頼関係構築につとめ社会性の回復を援助します。また高齢者のかかりやすい疾患などについて本人家族へ情報を提供・共有し、疾病の予防や再発防止に努めます。在宅生活での課題や認知症についてなど事業所より情報を発信し家族の心の支援に取り組みます。

事業所名 居宅介護支援事業所 そよ風の里“ほたる”

地域における役割

介護や支援が必要になった場合においても、高齢者が可能な限り住み慣れた地域において自立した日常生活を送ることができるよう支援します。

地域社会への取組（地域貢献事業）

要介護者が出来る限り住み慣れた地域で、最後まで尊厳を持って自分らしい自立した日常生活を送るために、医療・介護・予防・住まい・生活支援と言った多様なサービスが一体的に提供されるとともに、医療職をはじめとする他職種と連携・協働しながら要介護者等を支援できるよう、適切にケアマネジメントを行います。

令和4年度の重点目標

自然災害や感染症など不測の環境下にあっても、利用者様の在宅生活が円滑に送れるように、各サービス事業所・病院・地域等との連携を強化し、丁寧かつ迅速な対応を心掛け支援します。

具体的取組（成果、指標）

- ① お一人お一人の思いに沿った支援が提供できるように、他事業所、地域との協力・連携を図り、地域で支える視点でケアプランの質を高めます。
- ② 多様な地域の資源の情報を収集・把握し、他職種とのネットワークの拡充に努めます。
- ③ 介護支援専門員として質の向上を図るために、積極的に研修などの参加を行います。

稼働率目標指数

R1年度稼働率実績（%）	R2年度稼働率実績見込（%）	R3年度目標稼働率（%）
90%	99%	90%

財務基盤の強化への取組

法令を遵守した業務により、事業者間との信頼を深め健全経営の確保に努めます。また給管理件数を伸ばし、安定した運営が行われるように努めます。（利用件数目標 要介護33件 予防4件）

支援内容について

① 申請

支援や介護サービスが必要となる場合、本人またはその家族に対して申請や手続きについて説明を行います。また、必要がある場合は申請についてアドバイスを行います。

② 課題分析

利用者が現在、そして未来において生活するうえで、必要としている物を把握し、健康状態、ADL、家族の状況などの評価を行います。

③ 居宅サービス計画書の作成（原案）

認定結果を確認し、利用者またはその家族の意向や課題分析の結果をもとに、居宅サービス計画書原案を作成します。

④ サービス担当者会議

本人または家族とサービスに従事する専門職による検討会を開催し、居宅サービス計画書の内容について検討します、（フォーマル・インフォーマルな支援）

⑤ 介護サービス計画の作成

サービス担当者会議での検討内容を踏まえて作成し、利用者またはその家族に説明し同意を頂いた上で本案とします。

⑥ モニタリング

月に1回以上は、自宅を訪問するなど面接を行い、居宅サービス計画書どおりにサービスが提供されているかどうか、また、利用者やその家族の状況の変化などについて確認をしていきます。必要に応じて居宅サービス計画書の見直しを行います。

⑦ サービスの実施と記録

居宅支援の内容については、モニタリング内容や介護認定、福祉用具の申請など行政への申請代行、サービス提供事業所からの報告事項など記録します。

⑧ 情報の開示

居宅サービス計画書に沿って提供したサービスの記録については、利用者、ご家族からの要望があればそれを開示します。

相談援助について

同意と契約のもとに、本人家族を含め、今後どのように過ごしていきたいかという意向を尊重し、心身の状況、生活環境、希望等を勘案し、サービスの種類、内容、担当者を定め、介護サービスの利用限度枠内を原則にプランを作成します。

また、その人らしさを大切にし、人として自尊心を保ち、少しでも自立した日常生活が行えるよう支援を行い、かつサービス提供が、さらに公正中立に確保されるように業務を遂行します。

関係機関との連携について

地域包括ケアシステムの観点から、地域包括センター、行政、医療機関、関係事業所との連携を密にし、利用者が円滑にサービスを利用できるように努めます。また地域の社会資源の活用に努めます。

苦情窓口について

利用者またはその家族により、サービス事業者に対して何らかの苦情が発生した場合には、内容を十分に聞き取り、サービス事業者からの説明を受け、利用者またはその家族が納得されるよう的確かつ迅速に対応します。

事業所名 住宅型有料老人ホーム そよ風一番館

地域における役割

住み慣れた地域社会の中で、「自分らしく」「自由に」「安心して」生活できる場所を提供します。

地域社会への取組（地域貢献事業）

施設の内容など地域へ発信し、施設の対象者や内容など幅広くお知らせすることで将来の選択肢を広げることができる様取り組めます。また、希望がある場合には見学や概要の説明などを行い正しい情報提供を行います。

令和4年度の重点目標

今年度は、家族との情報の共有や課題についての相談など施設のみならず家族含め検討し対応していきます。家族との絆を重視し、連携を強化します。

具体的取組

今年度は、毎月の封書発送に日頃の様子や課題などの文書を同封し近況の共有を行います。また、本人の要望や課題に対し施設のみで解決せず本人含め、最良の方法を関係者で検討し実施するよう努めます。

稼働率目標指数

R2年度稼働率実績 (%)	R3年度稼働率実績見込 (%)	R4年度目標稼働率 (%)
99%	94.2%	98%

財務基盤の強化への取組

日頃より居宅介護事業所や関係機関との情報共有を行い、空室とならないよう申込者の呼びかけを行います。また、地域への情報発信を行い町外、県外の方の受け入れにも力を入れ安定した経営を目指します。

支援内容について

日常生活に必要な、食事・掃除・洗濯の支援を行います。また個々に応じ本人の心身の健康観察をお行い、必要な場合には関係機関と連携し対応します。

【健康管理】

日常の健康管理について

安心した日常生活が送れるよう、温度管理や本人の体温・血圧測定を行い、早期発見に努めます。また水

分摂取や食事の摂取量など関係機関と連携し適切に提供していきます。

緊急時の対応について

関係機関に迅速に連絡し、必要な対応を行います。緊急時は家族対応や救急車の要請を行い適切に対応します。

感染予防対策について

適切な温度管理と、換気や消毒を行い感染症予防・蔓延防止に取り組みます。また感染症予防のための勉強会や情報共有を行い意識向上に努めます。

【日常生活援助】

具体的取組（成果、指標）

日頃の体調の変化や心境の変化など、密に観察を行い関係者との担当者会議などで、より本人の状況にあった計画になるよう情報提供します。また会議などにも積極的に参加し、地域の状況や他の事業所からの情報を取り入れよりよりサービスが提供できるようにします。

相談援助について

相談窓口を設け、相談しやすい関係づくりに取り組みます。また、担当者以外の職員とも相談しやすいよう担当者を決めいつでも相談できる環境作りに取り組みます。

関係機関との連携について

情報共有を密に行い、本人の意見を尊重し生活していただけるよう連携して取り組みます。